

保証書

お買い上げ日	販売店名
年 月 日	
保証期間	
年間	連絡先 () -

※以下の内容に起因する故障、製品の不具合については保証の対象外といたします。

- 1.使用方法、設置方法、設置場所が製品仕様に対して適切でない場合
- 2.地震、台風その他天災など予測しえない事象に起因する故障、不具合
- 3.規定された周囲温度環境、電源以外での設置の場合
- 4.粉じんが多く、インバータの温度排熱性能が著しく低下する環境に設置の場合
- 5.クレーンなどの機械的な振動が頻繁に起こる、または振動が直接加わるような環境に設置の場合
- 6.メッキ工場や温泉など腐食性ガス、シンナー、ベンジンなどを含む有機溶剤、オイルの影響を受ける場所に設置の場合
- 7.海岸隣接地帯、プールなどに設置の場合
- 8.風速60m/秒を超える強風の恐れのある場所に設置の場合
- 9.施工不良による故障・不具合
- 10.製品取扱時の落下等による破損
- 11.製造元指定作業員以外が分解や修理を行ったことにより発生した故障
- 12.その他、当社の責によらない原因による故障、不具合
- 13.製品の不具合によって二次的に発生した事故、建造物や器具、設備の破損
- 14.製品の不具合によって生じる製品の撤去や再設置その他の付帯的な費用について

保守のための記録

- 工事完了後今後の施設安全維持のため記録のうえ、お客様にお渡しください。

施工日	施工店名
年 月 日	連絡先 () -

商品についてのお問合せ窓口

- 商品についてのお問い合わせは銘板に表示してあります形式をご確認の上、お買い求めの販売店へご連絡ください。

保証とアフターサービス

- 保証期間は商品お買い上げ日（お引渡し日）より原則3年です。（取り替えにかかる費用については1年間につき保証いたします。）
24時間連続使用など、1日20時間以上の長時間使用の場合は、上記の半分とします。（取り替えにかかる費用も対象といたします。）
保証内容とアフターサービスについては上記をご確認ください。

取扱説明書
ALS023シリーズ

保存用

当社照明器具をご採用いただきまして誠にありがとうございます。
この器具を正しくご使用いただくために、この説明書をお読みください。
この説明書は工事が終わりましたら、この器具をお使いになるお客様にお渡しください。
お読みになったあとは、いつでも見られる所に必ず保管してください。

ご使用前に

- 製品を取り出す時は絶対にケーブルを引っ張らないでください。破損の恐れがあります。
- 器具設置の前に現品がご要求のものと一致しているかどうか、確認してください。
- 輸送中の事故等により器具部品の脱落や破損がないかどうか、確認してください。

工事店様へ

工事が終了しましたら、必ず本取扱説明書をお客様へお渡しください。

1.施工上の注意

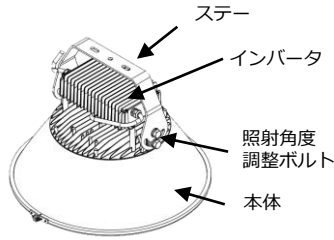
⚠ 警告 ・ この表示は「誤った取り扱いをすると人が死亡または重症を負う可能性が想定される内容を示します。」	
 必ず指示を守る事	<ul style="list-style-type: none"> ●この照明は品番により使用電圧が異なります。規定の電圧以外で使用した場合、破損、発煙、発火、火災の原因になります。 ●器具の取り付け・電源接続工事は本取扱説明書と仕様書に従って施工してください。取り付けに不備があると器具の落下、感電、火災の原因となります。 ●施工の際は必ず電源を切ってください。電源を入れたまま施工すると器具の破壊、感電、火災の原因となります。 ●既設のHID安定器は、必ず取り除いてください。安定器に器具を接続すると破損、感電、火災の原因となります。 ●落下防止ワイヤーは十分に強度のある場所へ、緩みの無いように張ってください。落下防止ワイヤーの取り付けに不備があると、落下、怪我の原因となります。 ●器具の取付に方向性があるものは、本体表示、取扱説明書にしたがって正しい方向に取付けてください。指定以外の取付けを行うと爆発・火災・感電の原因となります。 ●器具の取付は、器具重量に耐える所に本取扱説明書にしたがって確実に行ってください。取付に不備があると器具の落下・感電・けがの原因となります。
 禁止事項	<ul style="list-style-type: none"> ●下面カバーに衝撃を加えたり、破損した状態で使用しないでください。器具の落下の原因となります。器具に他の荷重をかけないでください。落下、焼損、感電の原因となります。 ●濡れた手で器具を取り扱わないでください。感電、故障の原因となります。 ●器具を改造しないでください。火災・感電・落下の原因となります。
 アース工事	<ul style="list-style-type: none"> ●アース工事は、電気設備の技術基準に従い、確実に行ってください。アースが不完全な場合は、感電の原因となります。（D種（第三種）接地工事）

⚠ 注意 ・ この表示を無視して誤った取り扱いをすると、人が傷害を負う危険及び物的損害の想定される内容を示します。	
 禁止事項	<ul style="list-style-type: none"> ●電源線の配線を束ねないでください。発熱の原因やノイズによる影響を受けやすくなります。 ●口出線(ケーブル)を引っ張らないでください。器具を持ち上げるときは器具本体を持ってください。故障の原因となります。 ●交流電源を繰り返し、継続して入切させて（点滅させて）使用しないでください。故障、火災の原因となります。
 取付	<ul style="list-style-type: none"> ●器具の工事は、関連法規および本取扱説明書にしたがって、電気工事の有資格者が確実に行ってください。 ●器具の取付は、安全上2人以上で作業を行ってください。 <p>●1系統あたりの最大接続灯数は8台まででご使用ください。</p> <ul style="list-style-type: none"> ●漏電ブレーカは高周波対策形をお勧めすると共に適正な感度電流を設定してください。 ※商用周波漏洩電流は1mA以下に規定されていますが複数取付によりその総和となります。 ●AC200V環境下では、両切スイッチを使用してください。 ●電動機、工作機などの動力系及びHID安定器と照明器具の電源は分けて配線してください。(AC分離)誤作動、故障の原因となります。 ●器具を密閉したり、器具からの放熱が滞留する空間に設置しないでください。 熱がこもり周囲温度が動作保証温度以上まで上昇すると、器具の故障、誤動作、短寿命の原因となります。 ●本製品は屋内用器具です。次の場所では使用できません。 <ul style="list-style-type: none"> ・クレーンなどの機械的な振動が頻繁に起こる、または振動が直接加わるような環境 ・周囲温度が-20℃より低い、または55℃より高い場所 ・器具上に粉塵、埃などが溜まる可能性のある場所 ・メッキ工場や温泉など腐食性ガス、シンナー、ベンジンなどを含む有機溶剤、オイルの影響を受ける環境 ・海岸隣接地帯、プールなどの塩害環境 ・引火する危険のある環境

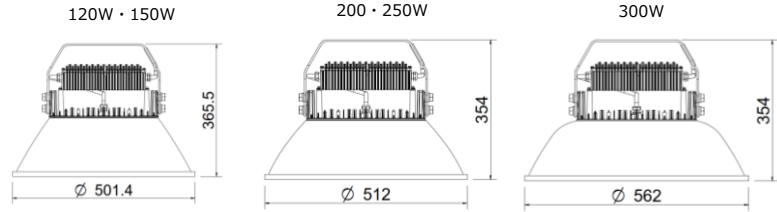
各部の名前と寸法

詳細は承認図をご確認ください。
単位：mm

器具各部の名前



器具 外形寸法



製品仕様

●詳細は納入仕様書をご確認ください。

品番	質量(kg)	定格入力電圧(V)	消費電力(W)	全光束(lm)	電源周波数(Hz)	使用環境温度(℃)
ALS023-120/P	7.5	AC200V (±10%以内)	119	10800	50/60	-20~+55
ALS023-150/P	7.5	AC100/200V (100V使用時:-5%~+10%、 200V使用時:±10%)	147	13500		
ALS023-200/P	7.9	AC200V (±10%以内)	194	18000		
ALS023-250/P	7.9		243	22500		
ALS023-300/P	9.0		286	27000		

取り付け方法

※施工の際は、必ず電源を切ってください。

①取り付け前に確認

- 口出線の接続は電気設備技術の省令第7条、及び同解釈12条に従ってください。
- 口出線の接続はスリーブ等により確実にを行い、粘着性ポリエチレンテープを巻いて十分に絶縁・防水の処理をしてください。処理が不十分な場合は故障の原因となります。
- 電源線は600V二種EPゴム絶縁クロロブレンゴムキャプタイヤケーブル(2PNCT)同等以上の性能を有する物を使用してください。
- 既設のHID安定器は取り除いてください。
- 動力系及びHID安定器とは別電源で配線してください。

②器具を取り付ける

投光器タイプ/直付タイプ

- ボルトを2本用意し、取り付け場所へステアを固定する。
- 照射角度調整ボルトをゆるめ、鉛直方向の照射角度調整を調節する。調節後は再度ボルトを締め付ける。
- 落下防止ワイヤーを取り付ける。(オプション品)

チェーン吊タイプ

- アイボルト(附属品)をステア中央の取付穴にしっかりと取り付ける。
- スナップフック(附属品)を取り付け、チェーンを通す。
- 天井構造物にチェーンを取り付ける。
- 落下防止ワイヤーを取り付ける。(オプション品)

③電源線・アース線を接続する

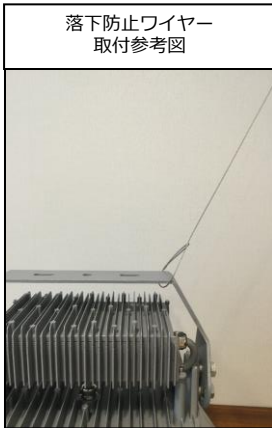
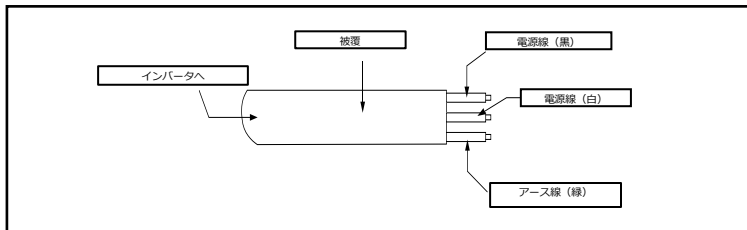
全タイプ共通

- インバータのアース線にD種接地工事を行う。
- インバータのAC入力側の口出線をAC電源線に接続する。

△ 取り付け時の注意点

- 落下防止ワイヤーは必ず取り付けてください。(オプション品)

電源線構造図



お客様へ

- 本取扱説明書は必ず保管してください。
- ご使用前にこの「安全上の注意」と「取扱説明書」をよくお読みの上、正しくお使いください。
- 照明器具の交換時や清掃時などにも、安全のために再度内容をご確認ください。

2.安全上の注意

※ 器具の取り付けには電気工士の資格が必要です。必ず工事店へ依頼してください。

	警告 誤った取り扱いをすると、人が死亡または重傷を負う可能性が想定される内容を示します。
	●ガス、蒸気または粉じん危険場所では使用できません。それぞれの危険場所に適合した防爆形器具を使用してください。不適合の器具をつかいますと、爆発・火災の原因となります。 ●器具の周囲温度は納入仕様書にしたがって使用温度範囲でお使いください。特に、周囲温度が高い雰囲気で使用されると、早期不点・故障が発生しやすくなります。また、爆発・火災の原因となります。
	●下面カバー、安定器ケースは開けないでください。故障・点灯不良の原因となります。 ●器具を改造しないでください。落下・爆発・火災・感電の原因となります。 ●布や紙など燃えやすいもので覆ったり、器具のスキマにものをいれたりしないでください。燃えやすいもので覆ったり、かぶせたり、異物をいれた場合は、爆発・火災の原因となります。 ●塩酸および塩素ガス等、特に腐食性ガスの強い雰囲気、塩害地域で使用しないでください。腐食性ガスなどの雰囲気、塩害地域でお使いになると腐食し落下・けがの原因となります。 ●器具を、酸性・アルカリ性洗剤、ガソリン、シンナー、ベンジン、灯油、アルコール、殺虫剤、みがき粉などで洗浄しないでください。破損、感電の原因となります。
	●万が一、煙がでたり、異臭がする等の異常状態のまま使用すると、爆発・火災・感電の原因となります。すぐに電源を切り、異常状態がおさまったのを確認後、工事店等に修理を依頼してください。

	注意 誤った取り扱いをすると、人が傷害を負ったり、物的損害の発生が想定される内容を示します。
	●明るく安全に使用していただくために、電気設備技術基準にしたがって、保守担当者による定期点検を行ってください。不具合がありましたら、そのまま使用しないで工事店等専門家に修理を依頼してください。
	●照明器具には寿命があります。設置して10年経つと、外観に異常がなくても内部の劣化は進行しています。安全と省エネのために点検・交換をおすすめします。 ※周囲温度が高い場合、点灯時間が長い場合は寿命が短くなります。点検せずに長時間使い続けると、まれに、爆発、発煙、発火、感電などに至る恐れがあります。

3.ご使用上の注意

- 長時間使用後にすぐ再点灯させると点滅する場合がありますが、これは保護機能のため故障ではございません。10分程度間隔をあけてから点灯させてください。
- 無電極ランプの特性上、個々の発光管により発光色や明るさにバラツキがある場合があります。また、経年によるそれらの減衰率にもバラツキがありますのでご了承ください。同一品番でも製品毎に発光色、明るさが異なる場合がありますのでご了承ください。
- 光色が安定するまで、1時間程度時間がかかる場合がございます。
- 無電極ランプは発光管の特性上、低温、暗所では発光しづらくなることがあります。長期間使用(通電)していない場合、発光管内のアマルガムの活性が弱まることに起因するものです。その場合は、10秒程度間隔を空けて数回スイッチのON-OFFをして、点灯するかお試し頂き、それでも点灯しない場合は、購入店へご相談下さい。点灯する場合は、製品特性上問題ありません。
- 電源電圧の変動は、各品番に適合した定格入力電圧の範囲内でご使用ください。
- 器具は、規定された周囲温度環境範囲、周囲温度10%~90%の範囲でご使用ください。範囲外での使用は短寿命の原因となります。
- 放送機器などの音声信号や映像信号は微弱なため、電源線の配線からの雑音を受けることがあります。
- 点灯時、消灯直後に部品の伸縮によるきしみ音が発生することがありますが、性能上問題はありません。
- 器具の表面は高温になりますので点灯中は表面に触れないでください。
- ランプを直視しないでください。眼を痛める原因となります。
- 調光制御は出来ません。

4.お手入れ方法

- 保守点検は必ず電源を切ってから行ってください。
- 器具の清掃については水または中性洗剤を用いて、汚れた部分を軽く拭き取ってください。シンナー、ベンジン、アルカリ系洗剤で拭かないでください。
- 水中につけての水洗い、散水での水洗いはしないでください。
- 保守点検は関連法規にしたがい、適切に実施してください。
- 修理が必要な場合は、当社までお問い合わせください。

5.分解及び廃棄

- 器具使用期間中の分解は、絶対に行わないでください。
- 無電極ランプは、微量ですが水銀を含んでおります。排出する際には、ガラスの破損に注意し、各自自治体の回収ルールに従い正しく分別・排出してください。排出時の安全及び処理委託上の注意点の詳細は、(一社)日本照明工業会ホームページをご参照ください。

(一社)日本照明工業会ホームページ 使用済み水銀使用ランプの分別・回収に係る情報提供について <http://www.jlma.or.jp/anzen/suigin/index.htm>